



# インターロッキングブロック舗装 Technical Report - 付録編 - (その8)

Vol.97

## 1. IL ブロック層の弾性係数

施工現場におけるたわみ測定から推定された IL ブロック層の弾性係数に関する調査結果を表1に示します。

表1 IL ブロック層の弾性係数の推定結果

No.	タイトル	発表先	発表者	舗装構造	調査結果
1	ILブロック層の見かけの弾性係数の推定	第18回 日本路会議	高橋義昭 官崎昇 笠原篤		FWDを用いたたわみ測定から、ILブロック層 (ILブロック+敷砂) の弾性係数は、瀝青安定処理上で1,000kgf/cm <sup>2</sup> 、粒状路盤上で4,000kgf/cm <sup>2</sup> 前後の値と報告。
2	ILブロックを用いたバス停留所舗装	「舗装」 1983年5月号	猪野秀明 真内勝司 古村満 高浦正幸		DC (Deflection and Curvature) メータを用いたたわみ測定から、供用開始時におけるILブロック層 (ILブロック+敷砂) の弾性係数は60,500kgf/cm <sup>2</sup> 、6か月後で88,200kgf/cm <sup>2</sup> の値と報告。
3	車道に適用されたILブロック舗装の季節変化特性	「舗装」 1998年	村井貞規 佐藤剛 畑実		FWDを用いたたわみ測定から、ILブロック単体の弾性係数は20,000kgf/cm <sup>2</sup> 、砂層で300kgf/cm <sup>2</sup> 程度と報告。

以上